

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	シニアステージ中野町別館	階数	地上3F
建設地	鳥取県境港市中野町5305,5306,5307	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、防火地域	平均居住人員	66 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2021年1月20日
敷地面積	2,609 m <sup>2</sup>	作成者	高森 知美
建築面積	951 m <sup>2</sup>	確認日	2021年1月21日
延床面積	2,255 m <sup>2</sup>	確認者	坂本 浩志



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 90% (165.6 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 90% (165.6 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+: 90% (165.6 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	3.0
温熱環境	2.7
光・視環境	2.6
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

機能性	3.9
耐用性	3.1
対応性	3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.5

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.6
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化	3.4
地域環境	2.9
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	オール電化建築物とし、オール電化厨房や、給湯設備にエコキュートを採用するなど、環境負荷低減に配慮した建物としている。	その他
Q1 室内環境	住居エリア、共用エリアをゾーニングするに当たり、建物利用の特性使用条件を考慮し、適切な計画とした。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	建物の外皮性能の向上を意識した計画とした。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	バリアフリー性に配慮し、入居者がスムーズに利用できるような配慮した。	Q3 室外環境(敷地内)
LR2 資源・マテリアル	節水型の水栓の利用等意識した計画とした。	LR3 敷地外環境
Q3 室外環境(敷地内)	建物の一部に公共的施設を設け、地域の活動やにぎわいに貢献できるように配慮した。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	自然光を取り入れることで地球温暖化に配慮した。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される